

(議事要旨 2) 企業会計基準委員会の最近の活動状況について

企業会計基準委員会 (ASBJ) の小野委員長、小賀坂副委員長及び関口常勤委員より、ASBJ の最近の活動状況についての報告が行われた。

その後、以下のとおり、基準諮問会議の委員より意見が出された。

<収益認識基準に関する検討状況>

- IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」の適用時期に間に合うよう、我が国の収益認識基準の開発を進めていくことが妥当と考えているが、開発の進め方に関して異論が出た理由を確認したい。

この点について、ASBJ 小賀坂副委員長より、広範な業種、企業に重要な影響を与える等の理由で慎重に進めるべきという意見が聞かれている旨の説明があった。

<税効果会計に関する検討状況>

- 適用初年度の期首の取扱いに関して、現在の議論では一定の項目のみを会計方針の変更として取り扱い、当該特定した条項を適用した場合の影響額を期首の利益剰余金に加減する提案が示されているが、そのような方向性になることを確認したい。

この点について、ASBJ 小賀坂副委員長より、現時点では事務局から提案した段階であり、結論には至っていない旨の説明があった。

以 上